

第 22 回長崎県ねんりんピック太極拳交流大会 第 37 回全国健康福祉祭り大会派遣選手選考会報告

令和 7 年 5 月 10 日（土）大村市体育文化館（シーハットおおむら）にて、上記の大会が開催されました。県内各地から競技の部に 9 チーム、61 名、交流の部に 20 チーム、のべ 430 名あまりが演武を披露しました。長与町太極拳協会からは競技の部に 2 チーム、交流の部に 2 チームが参加し、競技の部では『チーム織舞』が見事優勝し、ぎふ大会の出場切符を手にししました。また、シルクロードも賞をいただきました。

ねんりんピック出場条件である 60 歳以上をクリアした、60 代から 80 代までの皆さんが年齢を感じさせないすばらしい表演をされたこと、来年もまた元気な姿に会えることを願っています。

（出場者コメント）

大会タイトルに最もふさわしいメンバーで臨みました。参加決定から練習はじめはもたもた、よたよたで今崎先生や自主練習時指導いただいた出口会長にずいぶんイライラさせたと思います。各人はそれなりではありますが、一生懸命励みました。毎回毎回先生が丁寧な模範演武をして指導くださり、有難く大変勉強をさせて頂きました。

各人が何かしら身体の不具合を抱えながら精一杯とにかく頑張りました。チーム演武の出来栄はともあれ、皆この年で必死に一心不乱で全力を注いだ充実感と自身の成果を感じております。晴れやかな気分で「これからの練習も頑張ろうね」の声がかげり、意義があったねんりんピック大会参加でした。

最後に今崎先生にはもちろん、出口会長には手取り足取り面倒を見ていただき感謝いっぱいです。

（シルクロード 吉原マサエ）

〈太極拳と私〉

およそ 40 年前、市内で「健康ヨガと気功太極拳」という講座を受けたのですが、今にして思うと「起勢（チーシー）」の動きを繰り返していた時、月に一週間は断食をするといわれる指導者の久保先生（故人）から「あなたはもの凄く気が出ている」と言われたことがありました。それがずっと心に残っていて、そのころ地域にあった太極拳を 10 年続け、そして月日が経ち長年勤めた会社も退職して 5 年目の 2023 年、長与の広報誌で見つけた「ねんりんピック全国大会で県代表の長与太極拳チームが 9 位入賞」の記事、そく役場に問合せ、福來を紹介してもらって今に至ります。

長年憧れていた 24 式太極拳が灯台下暗しの長与に会ったということ、そして指導

者の水城先生も久保先生のことをご存じで、ちょっと大袈裟ではありますが、ようやく私が探していた世界が見つかったという感がありました。

とはいえ、すでに齡 70 目前の上に両脚とも的人工股関節。低くかがめず脚は上がり等 etc. のわが身の現実はあるものの、でも先生方の 20 年を超える努力で、長与町太極拳の黄金期にあるといっても過言ではない今、出会ったということ。本当にラッキーだったなど、心から思う私です。

(福來 清水愛子)



優勝旗をいただきました。チーム織舞



賞を囲んで。シルクロード